



～ 快挙! 英検 準 1 級 合格 !! ～

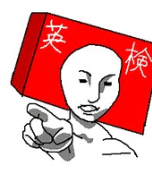
“Next stage!” 11号で第2回英検1次試験合格者の紹介をしました。先日2次試験の合格発表があり、浦添高校の受験者がとんでもない快挙を達成してくれました。なんと、準1級1名、2級10名、準2級81名の合格です。

特に驚いたのは、準1級合格の呉屋凜佳さんの快挙です。高校生で準1級合格は至難の業で、英語の先生方も本当に喜んでいました。呉屋さんがこれまでどのように努力してきたかは、別の機会に紹介することにしますが、校長として大変誇りに感じております。

また、2級合格者が10名もおります。将来は英語に関わる職業に就きたいと希望する生徒が多い中、着実に実力を付けてきました。さらに、準2級合格者81名は、チャレンジが実り、自らのキャリアとして残すことができました。

合格者のみなさん、本当におめでとうございます。みなさんは文武両道を謳う浦添高校の実践者として、本当によく頑張ってくれました。みなさんのこの実績は、何事にも変えられない我々の自信にも繋がりました。浦添高校はまさに進化しています。

このような快挙の裏には、先生方の支えがあったと聞いています。宮城教頭を始め英語科の先生方が忙しい中、面接練習を担当し、生徒のみなさんにアドバイスをしてくれました。英語科の先生方への感謝も忘れないようお願いいたします。



さて、生徒のみなさんの中に、英検受験をためらっている人はいないですか？足踏みは進歩に繋がりません。最初の一步を踏み出してみてください。次は君の番です。

校長

● 空手道部の活躍 ●

全九州高校新人大会で九州南ブロックに出場した本校空手道部は、素晴らしい成績を残し、全国選抜大会への出場権を獲得した。

- 女子団体形 優勝
- 女子個人形 當間琉妃 3位
- 友利瑛令那 3位
- 男子団体形 3位
- 男子個人形 川村真太郎 3位
- 女子団体組手 準優勝
- 男子団体組手 3位

少しだけ解説すると、沖縄県空手界は近年、組手競技において、なかなか結果が出せない状況である。形競技においては、以前から優秀な成績を残していた。そういう意味では、今回の本校空手道部の活躍は近年にない成績である。特に女子団体組手は快挙と言って良いのではないだろうか。

しかし、現状に満足してはならない。本校空手道部は、本県の代表であり、九州の代表となった。来る全国選抜大会は、その代表の責務があるということ強く認識しなければならない。

高体連空手道専門部長兼校長

*** 校長 雑感 ***

12月を迎えました。9月から「あっ」という間に時が流れたと感じているのは私だけではないと思います。年を重ねるにつれ「1年ってあっという間だな」と感じます。平成29年の締めくくりですが、今年も反省ばかりの1年でした。毎年「これでいいのだろうか？」と思うことがあり、同じ事を繰り返しているようにも感じます。もう54歳なのにこれでいいのだろうか？

～～～ 時の言葉 ～～～

涙とともにパンを食べた人間でなければ、人生の味はわからない。



ゲーテ (劇作家)

人生はいろいろな事がある。失望、悲しみ、悔しさ、惨めさ、憤り・・・本当にいろいろな事がある。

でも、わたしたちは現実と向き合い、堪え忍び、支え合いながら前を向いて生きていく。涙が頬を伝うたびに、人は思慮深くなり、人間的にも深みが出てくる。

校長

～ 師 走 ～

陰暦12月の異称。語源については、この月になると、家々で師(僧)を迎えて読経などの仏事を行うため、師が東西に忙しく走り回るため、「師馳(しは)せ月」といったのを誤ったものだから、四時の果てる月だから「しはつ(四極)月」といったのが、「つ」と「す」の音通(おんつう)によって「しはす」となったのだとかの説が伝わる。

(日本百科全書)

本校の師(先生方)もまさに“東西に忙しく走り回っている”ところである。生徒のみなさんの成績処理、勤怠集計、学級PTA準備、個人面談、成績会議・・・本当に忙しい。

先生方あと一息です。校長